

受 賞 者 紹 介

■文化芸術功労者（個人の部）

【美術／絵画】画家 ^{いしやま}石山 ^{よしひで}義秀（下関市）

略歴・業績	<p>1983 フランス国立エクス・アン・プローバンス美術学校卒業</p> <p>1985 帰国</p> <p>第12回朝の会展グランプリ賞（東京銀座洋協ホール）</p> <p>1986 「下関の美術・戦後世代の12人展」（下関市立美術館主催）</p> <p>1990 下関市水道局フレスコ壁画「水と子どもたち」（下関市依頼）</p> <p>1995～現在 下関市立美術館友の会 絵画教室講師</p> <p>2004 「九州の山々を描く石山義秀油彩画」展（西日本新聞社主催）</p> <p>2008～現在 下関市社会福祉センター 絵画教室講師</p> <p>2014～現在 下関市美術協会 会長</p> <p>2020 「潮流・下関2020」展（下関市立美術館主催）</p> <p>2021～現在 下関芸術文化懇話会 名誉会長</p>
受賞歴	<p>1986 下関市芸術文化振興奨励賞</p> <p>2020 紺綬褒章</p> <p>2022 下関市教育文化功労章</p>
功績概要	<p>穏やかで情感あふれる風景画を中心として精力的に創作活動を重ね、全国各地で個展を開催するとともに、下関市美術協会会長として下関市立美術館での公募展の開催や地元の絵画教室での絵画指導など、絵画を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【美術／絵画】画家 ^{うしお}牛尾 ^{あつし}篤（山口市）

<p>略歴・業績</p>	<p>1984 多摩美術大学絵画科油画専攻卒業 1984～1988 国立ウィーン応用美術大学に留学 1987 個展（ウィーン／AAIギャラリー） 1990 期待の新人賞作家展（東京／伊勢丹美術画廊） 1992 「年鑑日本のイラストレーション」（講談社）に掲載 1999 エッセイ集「憧れのウィーン便り」刊行（トラベルジャーナル） 2000・2002 個展（東京／青木画廊） 2013 個展（東京／リブレリース） 2014～2016 個展（兵庫／ギャラリーロイユ） 個展（東京／フマコンテンプラリー文京アート） ヤングアート台北・アートフォルモサに油彩画を出品 2024 エッセイ集「都会を離れて古民家暮らしはじめました」刊行（亜紀書房） アートジャカルタに油彩画を出品（アキオナガサワギャラリー）</p>
<p>受賞歴</p>	<p>2003 山本鼎版画大賞展 入選 CWAJ展 入選 2012 山口県美術展覧会 優秀賞 2017 山口県美術展覧会 優秀賞 2021 第24回岡本太郎現代芸術賞 特別賞 2023 第26回岡本太郎現代芸術賞 入選</p>
<p>功績概要</p>	<p>銅版画や油彩による緻密で独自の世界観を持った作品は、全国公募展で優秀な成績を収めるなど高く評価されている。出版物の装丁や本の執筆など幅広い分野で意欲的な創作活動を展開するなど、絵画を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【美術／工芸（硯）】作硯家 ^{ひえだ}日枝 ^{よういち}陽一（宇部市）

<p>略歴・業績</p>	<p>2000 宇部市万倉ふれあいセンター玄関ホールに赤間石を用いた壁面装飾を制作</p> <p>2002 東亜大学大学院総合学術研究科デザイン専攻博士課程修了。博士（学術）。三代 日枝玉峯に師事し作硯を始める。</p> <p>2002～2008 西部工芸展（受賞6回）</p> <p>2004～ 日本伝統工芸展（入選15回、受賞1回）</p> <p>2006～2013 全国伝統的工芸品公募展（受賞4回）</p> <p>2007～ 山口伝統工芸展（受賞10回）</p> <p>2008 （公社）日本工芸会 正会員認定</p> <p>2009～ 伝統工芸諸工芸部会展（受賞3回）</p> <p>2012 山口県・山東省有友好協定締結30周年記念として、山東博物館で制作実演</p> <p>2013 皇太子殿下山口県行啓に際し、山口伝統工芸展受賞作品を献上</p> <p>現在 （公社）日本工芸会山口支部幹事 （公社）日本工芸会山口支部未来委員会代表者</p>
<p>受賞歴</p>	<p>2008 山口伝統工芸展 日本工芸会山口支部長賞（大賞）</p> <p>2009 伝統工芸諸工芸部会展 文化庁長官賞（大賞）</p> <p>2010 経済産業大臣表彰 伝統的工芸品産業奨励賞</p> <p>2016 山口県芸術文化振興奨励賞</p> <p>2017 日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞</p> <p>2024 山口伝統工芸展 日本工芸会山口支部長賞（大賞）</p>
<p>功績概要</p>	<p>赤間硯の制作に長年従事し、日本工芸会正会員として、伝統的な制作技術や技法によって作り出される現代的で実用性を兼ね備えた作品は、県内外の伝統工芸展で数多く受賞するなど高く評価されており、作硯を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【文芸／児童文学】児童文学作家 ^{むらなか}村中 ^{りえ}李衣（山陽小野田市）

<p>略歴・業績</p>	<p>1958年山口県生まれ。児童文学作家、ノートルダム清心女子大学教授を経て、山口学芸大学客員教授。大学院修了後、慶應大学医学部病院管理学教室にて読書療法の研究に着手。小児病棟の子どもたちと絵本を介したコミュニケーションの可能性について考える。その後、0歳から100歳まで、いろいろな場所でいろいろな人との絵本の読みあいを行いながら、児童文学の創作を続ける。</p> <p>近年では刑務所での絵本を仲立ちとした教育プログラムづくりや、受刑母とその子どもとのコミュニケーションを支える活動を実施。</p>
<p>受賞歴</p>	<p>1984 日本児童文学者協会新人賞（「かむさはむにだ」偕成社） 1985 サンケイ児童出版文化賞（「小さいベッド」偕成社） 1990 野間児童文芸賞（「おねいちゃん」理論社） 2013 日本児童文学者協会賞（「チャーシューの月」小峰書店） 2015 全国学校図書館協議会選定図書（「かあさんのしっぽぽ」BL出版） 2017 第1回日本絵本研究賞 2019 坪田譲治文学賞（「あららのはたけ」偕成社） 2022 JBBY賞バリアフリー部門（「こくん」童心社）</p>
<p>功績概要</p>	<p>児童文学作家として数々の作品を発表し、日本児童文学者協会賞や野間児童文芸賞など、多くの賞を受賞するとともに、絵本を介したコミュニケーションの大切さを提唱する活動に取り組むなど、児童文学を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【音楽／邦楽】 ^{しんとざんりゅう} 新都山流尺八山口県支部長 ^{こばやし} ^{たかゆき} 小林 孝幸 ^{はんざん} (範山) (防府市)

<p>略歴・業績</p>	<p>1975 「4つの楽器によるジョイントリサイタル」共演（防府市公会堂） 1977 都山流尺八楽範山会設立、主宰 1983 新都山流尺八本曲コンクール全国大会大師範の部 優勝 1988 都山流尺八楽範山会演奏会開催（防府市公会堂） 1993～2019 「和楽器遊郡 ね色」結成 毎年コンサート実施 2001～2015 「邦楽グループ 木風」結成 毎年コンサート実施 2002 新都山流尺八 山口県支部長 現在に至る 2013 小林範山尺八コンサート（防府市地域交流センターアスピラート） 2019 防府市邦楽舞踊連盟 会長 現在に至る 山口県邦楽連盟 副会長（常任理事） 現在に至る</p>
<p>受賞歴</p>	<p>2009 防府市文化奨励賞（個人の部） 2016 防府市文化奨励賞（「範山会」として団体の部）</p>
<p>功績概要</p>	<p>新都山流尺八山口県支部長を長年務めるとともに、山口県邦楽連盟の理事・副会長として、県内の邦楽団体の連携交流に尽力している。高い演奏技術を保持し、後進の育成・指導に取り組むなど、邦楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【音楽／音楽指導（合唱）】山口県母の合唱連盟副会長 ^{すえひろ}末廣 ^{じゅんこ}順子（宇部市）

<p>略歴・業績</p>	<p>1964～2001 日本声楽発声学会 会員 1967～1991 ソプラノリサイタル3回・ジョイントリサイタル（ピアノ・ソプラノ）開催 1969～2001 山口芸術短期大学勤務（助手・講師・助教授・教授） 1971～2005 女声合唱「あかね会」指導・指揮 創立25周年・30周年・35周年・38周年・40周年・GOLDEN ANNIVERSARY CONCERT・50周年・東京あかね会・宇部あかね会ジョイントコンサート開催 1973～1997 山口県学生音楽コンクール独唱部門 審査員 1977 山口県芸術祭 出演 1986～2024 宇部市医師会「ドイツリートのかい」指導 1988 山口県芸術祭 出演 1994～2024 山口県音楽協会 理事 2004 山口県母のコーラスフェスティバル 合唱講評者 2007～2024 山口県母の合唱連盟 副会長 2023 山口県母のコーラスフェスティバル 合唱講評者</p>
<p>受賞歴</p>	<p>1981 全日本合唱連盟おかあさんコーラス山口県大会 ひまわり賞 1982 全日本合唱連盟おかあさんコーラス山口県大会 ひまわり賞</p>
<p>功績概要</p>	<p>声楽家としての演奏活動に加え、山口県母の合唱連盟副会長や山口県音楽協会理事として、団体の運営に尽力するとともに、合唱指導を通じた後進の育成やコンクールの審査員を長年務めるなど、音楽を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。</p>

【音楽・舞踊／吟剣詩舞】山口県吟剣詩舞道総連盟会長

ひろしげ ゆきお こうふう
廣重 幸雄（光風）（岩国市）

略歴・業績	1972～2022 岩国刑務所篤志面接委員 1973～現在 山口県吟剣詩舞道大会 第1回から毎年参加・出演 1973～現在 吟詠コンクール大会（全国・中国・山口県大会）審査員として活動 1982～現在 光風流山陽吟詠会 宗家・会長 1988～現在 岩国地区吟剣詩舞道連盟 会長 2000～2016 岩国市文化協会 副会長 2006～2012 全国名流吟剣詩舞道大会に山口県代表として出場 2008～2020 全国吟剣詩舞道大会に山口県代表として出場 2008～2018 山口県吟剣詩舞道総連盟 理事長 2018～現在 山口県吟剣詩舞道総連盟 会長
受賞歴	1999 岩国市文化協会文化功労賞 2009 岩国市文化功労賞 2013 藍綬褒章（篤志面接委員として職務遂行） 2015 久能賞（岩国市文化協会） 2017 吟剣詩舞大賞（公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会）
功績概要	山口県吟剣詩舞道総連盟会長や理事長を長年務めるとともに、県代表として全国大会にも数多く出場、大会審査員を務めるなど、本県の吟剣詩舞をけん引している。 また、矯正施設等において詩吟の指導を行うなど、吟剣詩舞を通じて本県文化芸術の振興に寄与している。

■文化財保護功労者

○長門市文化財保護審議会委員・下関市文化財保護審議会委員

しみず みつゆき
清水 満幸（萩市）

略歴・業績	2007.9 ～2018.8 萩市文化財保護審議会 委員 2008.4 ～2014.3 山口県史編さん 調査委員 2009.7 ～現在 長門市文化財保護審議会 委員（2009～2011 副会長） 2011.7 ～現在 下関市文化財保護審議会 委員 2012.9 ～2016.9 JICA技術協力プロジェクト「ヨルダン国サルト市における持続可能な観光開発プロジェクト」エコミュージアム専門員 2017.4 ～2020.3 萩博物館館長 2022.9 ～現在 日本民具学会 評議員 2022.9 ～現在 山口県立山口博物館協議会 委員 2024.6 ～現在 NPO萩まちじゅう博物館 理事 2024.6 ～現在 NPO地域文化サポーターズやまぐち 理事
受賞歴要	2022.11 下関市功労者表彰（教育文化功労）
功績概要	有形民俗文化財、無形民俗文化財に関する専門家として、2009年から現在に至るまで長門市文化財保護審議会委員（2009～2011 副会長）、2011年から現在に至るまで下関市文化財保護審議会委員を務めるなど、文化財の保護に尽力している。

○柳井市文化財保護審議会委員

まつしま さちお
松島 幸夫（柳井市）

略歴・業績	1991 ～1998 茶臼山古墳発掘調査・整備事業 2007.6 ～現在 柳井市文化財保護審議会 委員（2023～現在 会長） 2011.4 ～2017.3 柳井市文化財指導員 2014.4 ～現在 柳井市郷談会 会長 2017.4 ～現在 柳井市社会教育指導員 市民歴史講座（定期講演）、柳井市広報誌へコラム掲載（2019～現在） 2023.6 ～現在 柳井市伝統的建造物群保存地区保存審議会 委員（2023～現在 会長）
功績概要	史跡に関する専門家として、2007年から現在に至るまで柳井市文化財保護審議会委員（2023～現在 会長）を務めるほか、多くの遺跡発掘調査・整備事業に携わるなど、文化財の保護に尽力している。

○サバー送り保存会（長門市） ※会長：上田^{うえだ} 久充^{ひさみつ}

略歴・業績	<p>1989年7月設立</p> <p>北浦地方のサバー送りは、長門市から下関市にかけて、「サバーサマ」と「サネモリサマ」と呼ばれる騎馬武者姿の藁人形2体を、住民が集落の外に送り出すことで、稲につく害虫を追い払い、稲の無事な生育を祈願する江戸時代から伝わる民俗行事。</p> <p>広域を送り継ぐ形態には地域的特色が顕著であることから、貴重な行事として、2009年山口県指定無形民俗文化財に指定され、また、2023年には記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されている。</p> <p>当保存会は、毎年実施されている北浦地方のサバー送りで使われる藁人形の作り手及び送り継ぎの出発から旧長門市境までの運び手を担っている。</p> <p>また、地元小学校において、出前授業を定期的に行うなど、普及啓発活動にも努めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 6月下旬 保存会が確保したもち米の藁を使って、藁人形を製作・ 7月上旬 藁人形を飯山八幡宮から送り出し、送り継ぎ地点（旧長門市と旧日置町の境（長門市日置上長崎））まで運搬
功績概要	<p>1989年の設立以来、現在に至るまで、35年余りの長きにわたり、県指定無形民俗文化財「北浦地方のサバー送り」の保存に尽力した。その間、広く地域住民の協力を得ながら、江戸時代より伝わる地域の伝統行事を、今日まで絶やすことなく維持・継承しており、文化財の保護に寄与した功績は顕著である。</p>